



～令和6年度第4回コア会議が開催されました～

令和7年2月26日（水）に「公園マネジメント会議 令和6年度第4回コア会議」が地球市民交流センターにて開催され、コア会員16団体に対し、出席が9団体となり、コア会議が成立しました。

前回のふりかえりと各分科会からの本年度の活動実績及び次年度の活動計画、駐車許可証及び会員情報の共有に向けたアンケート結果について報告が行われました。

また、次年度の「公園マネジメント会議」の取り組みについて、これまでの会議の結果を鑑みて作成したプロジェクト案を示した上で、グループワークを実施し、活発な意見交換が行なわれました。



前回のふりかえり

●前回、第3回コア会議（令和6年12月26日開催/第86号かわらばん参照）のふりかえりで、第2回コア会議のグループワークの結果整理、「公園マネジメント会議のあゆみ（後編）」の紹介、今後「どのようなことを取り組んでいくのか」をテーマとしたグループワークの実施結果について事務局より報告がありました。

各分科会からの報告

●本年度に設置された分科会より、本年度の活動実績及び次年度の活動計画について報告がありました。

- 👉①子どもの遊び場を検討する分科会
(代表団体であるスポーツサポート協会が欠席の為、資料配布での報告)
- 👉②モリコロパーク特産品開発分科会
- 👉③音楽とダンスによる市民交流と文化活動振興分科会

（質疑・意見交換）

- ・①について：これまでの検討結果を踏まえた上で、設定した検証内容や取り組みたいテーマ設定について詳しく教えてほしい。また、4月～9月まで地球市民交流センターは「愛知万博20周年記念事業」が展開されているが、その中でイベントを持ち込んで検証できるのか心配である。←代表者欠席の為、確認事項とする。
- ・②について：県の財務規則を始め様々な規制により販売はできないが、他では提供できないハナモモの実を使ったお菓子をイベントでPRしている。それはモリコロパークならではの魅力として考えている。また、ハナモモだけではなく、公園内の景観も資源として捉えている。
- ・③について：イベントの開催は手段であり、目的ではない。イベントを開催した先にどういう効果を生もうとしているのかを目的に掲げた方がわかりやすい。



各種アンケート結果

●駐車許可証及び会員情報の共有に向けたアンケートの結果について事務局より報告がありました。

【駐車許可証についてのアンケート結果】

- 回答率は約7割であり、回答があったものの内、約9割の団体が駐車許可証の交付を受け、約2割の団体を除いては、実際に駐車許可証が使用されている。使用頻度は各団体においてバラツキがあるものの、今後も継続して駐車許可証を発行する必要があると言える。

【会員情報の共有に向けたアンケート結果】

- 回答率は約7割となり、回答があったものの内、約7割の団体は連絡先の情報公開を可とする（一部は会員のみに限定）意向であった。団体毎で情報の公開に対して様々な事情があるかと思われるが、公園マネジメント会議（会員）として、会員リストを有効に活用し、今後の活動に繋げていく必要がある。会員リストは愛知県公園緑地課Webページにて準備ができ次第、順次公開する。※非公開、会員のみ公開を選択された方に限り、該当箇所を塗りつぶし等の処置の上、公開する。

グループワーク

●次年度（令和7年度）の「公園マネジメント会議」の取り組みについて、実施計画（案）を作成するための素材集めを目的に、プロジェクト案を示した上でグループワークを行った。

【PJ（プロジェクト）案】

（これまでの会議の結果を鑑みて作成）

- (1) PJ1 : Q&Aの作成
- (2) PJ2 : チャレンジスペース「ラボハウス」周辺の活性化
- (3) PJ3 : チャレンジスペース「西口エントランス」活性化
- (4) PJ4 : 「実行委員化」の取扱いについて
- (5) PJ5 : 「チーム制度」の取扱いについて

（グループワーク意見・発表）

【A班】

- [PJ1] …Q&Aの「Q」の洗い出しに関しては、新規会員向けやベテラン会員向けといった対象・内容によって「Q」の問い合わせが違ってくる。

ターゲットを設定して、目的に向けて「Q」の洗い出しをする必要がある。

事務局寄りの「Q」ではなく階層に分けて聞き取りを行う。その後、「A」のアイデア出しや整理を踏まえて、「A」の確定・修正を経て、「Q&A」の確定を行う。

- [PJ2] …チャレンジスペースとは何をするところなのか目的を整理する必要がある。

「ラボハウス」周辺がどのように使われているのか現状を把握した上で、「この場所をどうしたいのか」、「この場所がどうあるべきか」といった目的や方向性を定める必要がある。

- [PJ2] と [PJ3] のチャレンジスペースについて、「他の場所でもできないのか」という意見もあった。

【B班】

- [PJ1] …「実行委員会」や「チーム制度」、「分科会の手続き」等のルールは、Q&Aにまとめてよい。イベント（例：昆虫や自然と触れ合える）をやりたいと思った時に、この広い「公園のどこでやると相性が良いのか」も分かるといい。Q&Aにまとめるものは、制度の説明ばかりでなく、「公園での活動に合わせたQ&Aにするといい」との意見もあった。

• ①どんなことを「Q」に入れるのか決めて、②「A」の回答の擦り合わせをするが、回答を全て事務局がつくるのは大変であり、会員さんにも回答を募る必要がある。完成したQ&Aの公開方法も考えていく必要があるとの意見もあった。

- [PJ2] と [PJ3] …ラボハウスと西口エントランスが候補地として挙がっている中で、ラボハウスについて日曜日に活動がないことが分かった。その上で現在の公園の利用状況を鑑みると「地球市民交流センターに人が来ていないので、こちらを活性化させた方がよい」との意見もあった。また、チャレンジスペースで何を活性化させようとしているのかを整理をしないと、やることが目的になってしまって、目的や目標を明確にする必要があり、誰が何をするのかを明確にして、会員さんが取り組みやすい環境を整えてあげることが大事との意見もあった。さらに、この取り組みをスピーディーにできる媒体も併せて考える必要があるとの意見もあった。

• 気軽に質問する場がない。例えば「LINEのオープンチャットなどがあるので、可能であれば早くやりたいとの意見もあった。

【総括】

- どちらの班も [PJ4] と [PJ5] の関心が低いことがわかった。しかし、[PJ4] の「実行委員会」も [PJ5] の「チーム制度」も嗜み碎いていくとQ&Aだと思うので、[PJ1] のQ&Aで回収すればいい。
- [PJ1] のQ&A…B班からは、素朴な疑問を放り込み、それに対して「A」をつくるという「Q&A」の進め方のアイデアが得られた。A班からは、ターゲット設定を明確にする必要があるという意見があった。
- [PJ2] と [PJ3] …B班の地球市民交流センターをチャレンジスペースの対象にするかは検討事項に入れたい。ラボハウスはA班で触れてもらったが、現状分析が必要なのはごもっともである。ラボハウスは深掘りした方がよさそう。西口エントランスは誰も触れなかったが、空白地帯であり、ジブリに遠慮なくできるのと、動線のクロスポイントなので、人の目には触れるという早川さん（今回欠席）の見立てがある。マネジメント会議としては、西口エントランスの可能性を探るのは継続審議としたい。
- [PJ1]・[PJ2]・[PJ3] はスピーディーにやるために工夫が必要との意見があり、オープンチャットのような気軽に質問できる場づくりも考えていく必要がある。

👉 本日のグループワークの結果より、次年度の第1回総会（5月～6月頃開催予定）に向けて、令和7年度「公園マネジメント会議」実施計画（案）を事務局にて作成する。

お問い合わせ先



公園マネジメント会議 HP

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/koen/koenmng.html>

愛知県都市・交通局都市基盤部

公園緑地課（協働グループ）

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

TEL : 052-954-**6491** FAX : 052-953-5329

